



玉名市立天水中学校

学級数 8学級

生徒数 139名

玉名市小中一貫教育・・・玉名市は全小中学校で小中一貫教育を進めています。

天水中学校区教育目標

ふるさと天水町に誇りをもち、たくましく生き抜く児童・生徒の育成

天水中学校区でめざす児童・生徒

- ◇自分の思いや考えを伝え合い学び合い、未来を切り拓くことができる児童・生徒
- ◇自他を大切にし、感謝と思いやりの心をもった児童・生徒
- ◇生涯を通して健康・体力づくりに積極的に取り組む児童・生徒

1 天水中プライド

健康 友愛 自主



【生徒会職員合同会議】



【生徒総会】

【校訓】

本校では、伝統ある校訓「自主・友愛・健康」のもと、生徒が主体となり、仲間や地域の思いを感じ、笑顔で交流し合う活動である、生徒主体の「絆プロジェクト」活動を通して、みんなが、居心地が良く「笑顔」になれる学校を目指しています。

年度当初の4月6日には、生徒会職員合同会議を行いました。生徒会長より、生徒会スローガン「∞（無限）～限りない未来への挑戦～」や目指す生徒像（生徒会三本柱）である「自分の意見をしっかりと発言できる生徒」「時間を有効に使うことができる生徒」「笑顔があふれる生徒」の発表があったのち、職員からの質問にも生徒会執行部が堂々と答える姿がありました。

その後、4月13日の生徒総会や休校明け初日の6月1日のクラス会議を実施し、学校や地域のためにどのようなことができるのか考え、活動する生徒会活動を展開しています。「チーム天水」を合い言葉に、ふるさと天水町に誇りをもち、たくましく生き抜く生徒の育成を目指し、学校運営協議会とともに、地域と協働した学校運営を行っています。

2 学校教育目標

自ら学び、心豊かに、たくましく未来を切り拓く生徒の育成

教育スローガン：笑顔で登校 感謝で下校

3 目指す生徒像

- 自分の意見をしっかりと発言できる生徒
- 時間を有効に使うことができる生徒
- 笑顔があふれる生徒



4 教育活動の実践・重点事項

(1) アンゴラ共和国に手紙を書こう



6月24日に、1年生の英語の授業で、東京オリンピックに出場するアンゴラ共和国女子ハンドボールナショナルチームを応援するメッセージを書きました。昨年、玉名市が、東京オリンピックにおけるアンゴラ共和国のホストタウンに登録されたことを受けての取組です。アンゴラ共和国の場所や気候、食べ物などについて学んだあと、はがきに応援メッセージを書きました。1年生は、中学校生活3週間目でしたが、ALTの先生と英語で会話したり、英語でメッセージを書いたりして、楽しい時間を過ごしていました。

(2) 天水町を見てみよう①



昨年度12月に実施された「天水未来シンポジウム」の中で出された様々な課題を解決するために、生徒会の各委員会で、天水町の現状を見に行く活動が計画されました。左の写真は、放送委員長が見に行く場所や活動内容について説明しているところです。

放送委員会は、津波がきたときの避難場所である来照寺までのごみ拾いを企画しました。また、俳優の笠智衆さんについて学ぶため、来照寺の方に質問する項目についても話し合っていました。

(3) 天水町を見てみよう②



7月8日(水)に、天水町の現状を学ぶため「天水町を見てみよう」という活動が行われました。写真は、生徒会執行部が天水町商工会へ行き、商工会の方へ天水夏祭りについて質問をしている様子です。

天水中学校生徒会は、平成30年度から天水夏祭りの運営に参画しています。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため夏祭りは中止になりましたが、これまでの取組が途絶えないために、執行部のメンバーが商工会の方へ夏祭りに対する思いや、中学生に対する願いを聞き取っています。

(4) 人権集会



心のきずなを深める月間(6月)の人権学習の中で、友達や学級、学年の絆について深く考えました。そして、7月17日(金)に、人権集会を行いました。人権集会では、各学年から発表し、その後、活発な意見交流を行いました。

写真は、1年2組の発表の様子です。1年2組人権宣言を掲げ、自分たちのクラスで取り組んでいく3つのことを発表しました。生徒会が掲げた目指す生徒像「笑顔があふれる生徒」に向かって、みんなで人権について考える機会となりました。